

# いろいろかげえ

## 透視紙芝居について

木俣 武

1

いろいろかげえ透視紙芝居とは、セロファンを使って作る色彩のある影絵を、逆光線にて透してながめる新しい試みの紙芝居であります。

透してながめることによって、普通の紙芝居とちがったセロファンの重り合による美しい色彩の効果と、影絵の醸し出す幻想的な雰囲気は、自づから作り出された童心の夢だと私は思っています。

直接多くの子供達に接する機会に恵れない私ではありますが、常日頃子供達のために童画を描く者として、スライドの作品目録に目をとおした時に、物足りなく感ずることは小学校の児童を対象として制作された作品に比較して、幼児を対象

とした作品の数の少ないことでもあります。

これは幼児に、幻燈が適さないという理由からでなく、窓を広くとる幼稚園の建物の関係から、紙芝居のように手軽に演出出来ない不便さに原因があるようにも思えます。

幻燈の代用品を作ろうとして、私は透視紙芝居を考案したではありませんが、いろいろかげえを観賞するには透してながめるのが、一番効果的であるという観賞上の立場からと、これを幼児にみせる場合、紙芝居の形式をとるのが最も適当な方法であるという、一致点から幻燈機を用いないで、幻燈の効果を出すいろいろかげえ透視紙芝居が生れたのであります。

窓ガラスの前で、或は戸外で太陽を背にすれば、美しい幻想的な影絵を、紙芝居のように手軽に演出出来ることは、透視紙芝居の持つ第一の特色だと思えます。

その外にいろいろかげえは、たやすく誰れ

にでも作ることが出来るといふ普遍的な特質をそなえて居りますので、いいかえれば大衆性のある新しい影絵の芸術だといえるでしょう。

多くの人達の間に、いろいろかげえを作る事が普及されると、幼稚園及び子供会等で紙芝居を利用する場合、必要に依り自分の手で作品を作り、それを子ども達に与えることも絵を描くより手軽に出来るでしょう。

又私達の作品を与えるだけでなく一歩進んで作ることを指導すれば、子供達は私達の想像もしなかつたような、すぐれた作品を作ってくれることだろうと思えます。

紙芝居を児童が作るということは、単に一枚の絵を描くという枠を越えた、少くとも教科目の学習的な要素の綜合されたものであり、これをかげえで製作させることによって、セロファンに組合せよる新しい試みとしての色彩教育にまでも、発展させることが出来ると思えます。

す。

勿論幼児の場合いきなりこのことを、求めるのは無理なことではありますが、丸や三角等の形を切り抜いたセロファンを幼児に与えて、それも不規則に重り合うように並べる程度の作業は幼児にも可能なことであります。

セロファンを組合せたものを、透してながめた時に、セロファンの重り合によって無意識の間に構成された美しさは、色のあそびとして幼児に興味を持たせると共に、あそびの間に色彩感覚を豊かにさせる結果にもなると思つて居ります。色彩教育の一環として私は一つの試案を持つて居りますが、これを理論的に尙深く追究して体系づけることが出来た時、レクリエーション的の面からのみ評価され勝の透視紙芝居の価値を、一層高く意義付けることになると思つて居ります。

## 2

透してながめるといふ特質を、他の方

法で説明することは、結局抽象的なことを繰り返すことに過ぎませんので、透視紙芝居の作り方を説明して、若しそれに依つて試作して下さることが出来たら、それこそ下手な百の説法に勝ることと思つて居ります。

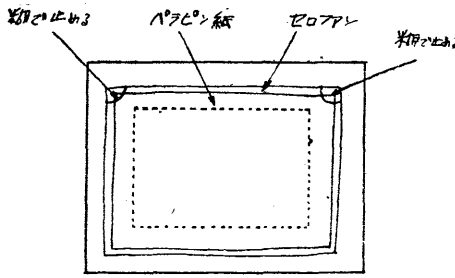
キャンデーを包んだセロファンがございましたら、それを水につけて窓ガラスに貼りつけて下さい。

セロファンが乾いてしわが延びましたら、それをはがして三角形、丸等の形を切りガラス板の上に不規則にセロファンが、重り合さるようにならばその上に別のガラス板を置き透してながめて見て下さい。

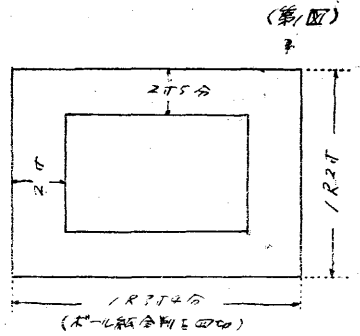
セロファンの重り合せに依つて、無意識の内に構成された抽象的な美しさの一つの驚きを感じられることだろうと思つて居ります。

私はこれを色の構成と称して居ります。

透視紙芝居とは、これに影絵を組合せ



(第2図)



(第3図)

て作ったものであります。

紙芝居を作るには、ボール紙の真中に四角の窓をあけた枠が一面面に対して二枚入用でございます。

私達は絵の大きさを統一させるために、第一図に示すような寸法の枠を使用して居ります。

ボール紙の枠が出来ましたら次に透明セロファンとパラフィン紙を切って、第二図のように一方の枠に糊又はセメダイン等で止めて下さい。

影絵用の台紙が出来ましたら、ラシヤ紙に影絵の下図を描き、はさみで切り抜きます。下図がはつきり判って切るのに都合がいいので、私達はねずみ色のラシヤ紙を使用して居りますが、そのために影絵が切り抜いたら墨汁に黒いポスターカラーを交せて影絵を塗りつぶしてあります。

墨汁だけで塗りつぶしてもよろしいのですが、透した場合塗ったむらが目立ちますので黒いポスター・カラーを交せて

使って居ります。

影絵が出来上ったら、第三図のように台紙の下に影絵を置き背景になる色のセロファンを切り抜きましょう。

セロファンが切れましたら、その一端若くは両端にすり落ちない程度の極少量の糊をつけて、パラフィン紙に貼りつけながら、いろいろかげえを構成します。

直接ボール紙、パラフィン紙に糊をつけ過ぎると、出来上った場合画面がよれたり台紙自体がひつひつりますから、糊付けは特に注意なさるようお願い申し上げます。

色セロファンの構成が終わったら、その上に影絵を糊で台紙に止め更に透明セロファンをその上に止め、別のボール紙の枠を重ね合せ、第五図のように上、下及び四方をホッチキスで止めると透視紙芝居が出来上ります。

窓ガラスを利用したり、戸外で太陽を背にしたりすればこのままで子供達に透視紙芝居をみせることが出来ます。

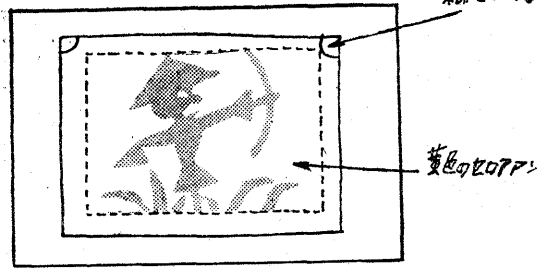
私達は素材ではありませんが、部分的に影絵を動したり、同時に二枚乃至三枚の画を重ねて画面の奏行を現したりして居ります。

又会場の関係や夜間等のことを考えて照明の装置をほどこした舞台を考案して使用して居ります。これらのことにつきましては、又別に

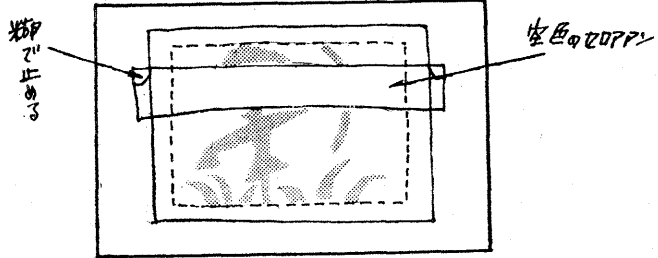
作り方の説明に合せていろいろか、大体お判りになったことと思ひます。

(13頁に続く)

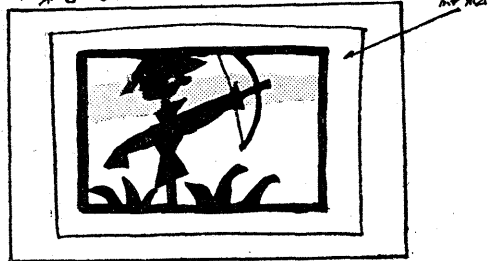
(第3図)



(第4図)



(第5図)



機会でもありましたら詳細に作り方をお知らせしたいと思つて居ります。

材料の費用は、私共は共同で購入して分け合つて居りますが個々にお求めになる場合相当高価につくかとも考えます。

それでも一画面の材料代は百円以下で揃えることが出来るだろうと思ひます。

これは色のセロファン八色全部を揃えたものとしての計算でございまして、十画面の場合には色のセロファンの費用が大部節約されることを、お含み下さい。

五月十九日 曇

午過ぎに大阪から帰って、最後にもう一度、春日神社から普通のコースを一巡し、補足的にスケッチする。万葉植物園も始めて見たが、高級過ぎるためか、入場者は稀のようである。奈良公園は半被姿の天理教の人達が数百人清掃奉仕をしていた。

かくて其の夜、私は名残惜しくも奈良を去った。駅には世話になった松尾君夫妻、令嬢、雨倉君夫妻、女子大の松沢君等が見送ってくれた。

願れば約二週間、日光のある間は、昼飯の時間も惜しむ位に、大和の風物を前にして過した。吉野路、飛鳥路等は逸したが、何れも曾遊の地であるから、ほぼ私の大和の情は今度で集大成されたように思う。私は松尾君等の好意を感謝しつつ、遠ざかり行く奈良に別れを惜しんだのであった。

(元お茶の水女子大学長)

× × ×

× × ×

36頁より続く いろいろかえを作ること

は、このように簡単なのでありますが、それだけにいい作品を作るということ、製作する心がかえが、重大だと、考えるのであります。これは良心の問題であります。透視紙芝居を新しく考案した者として、今の峻しい時代の波に流されつつある子供達のために、真剣に考えてやらなければならぬ義務だとも思っています。

私は商業主義をいちがい悪いとは思いませんが、童画家として、又世の中の多くの親の一人として、せめて自分で考案したるかげえ透視紙芝居だけは、企業化することなくして、子供達のために美しい夢を与えるものとして守り続けたと思います。それには数多くの作品を自分達の手で作るといふことが必要であります。

そのために私は同志を集めて、かみきりむしの会を結成したのです。

これは微力な一粒の種にしか過ぎませ

んが、これを機縁として子供達のためにという善意の人達が手をつなぎ合う母胎ともなれば、私はこの上もない喜びだと思えます。

こども達のために、力を合せて夢を作る大きな組織にまで発展したらと、考えただけでも嬉しいことであります。

又そのような人達の集りの中からこそ、表現の技術の巧拙を乗り越えて、大人と子供の区別なく本心に心うつ童画としての、透視紙芝居が生れてくると私は信じて居ります。

一人でも多くの方が、こどもたちのためにかみきりむしの仲間に加って下さることを願って居ります。

やがて私達の仲間が、一人前のかみきりむしとして成長し、日本中をこびまわり子供たちのよき友となる日の来るのを待つて居ります。

(童画家)